

『神の恵みの支配の中で』 マタイ6章9～10節 2018.1.7(新年礼拝説教より)

『どうぞ、あなたのおことばどおりこの身になりますように。』 ルカの福音書 1章 38節

❶御名を呼ぶ…今年テーマ「天の御心を私たちが今ここで」を実現する第一歩は、私たちが「神の名を呼ぶ」ことから！実際は私たちが御名を呼ぶ前、まず神が私たちの名を呼ばれる(イザヤ 43:1)。神と私たちは本来、互いに名前を呼び合い、存在を引き出しあう関係。「御名」そのものに意味がある！『わたしは有りてある者(永遠の昔から永遠の先まで存在する者)』、『その名をイエス(神は救い…その民を罪から救う者)』、『その名はインマヌエル(神、われらと共に)』…御名は神の「本質と働き」を知らせる！イエスも言う『二人でも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいる(マタイ 18:20)』。

★教会で「私たちの父なる神様」と呼ぶ時、その祈りが私たちに恵みの支配の中で一つにする！生活の中で「天の父なる神様」と呼ぶ時、このお方が、すぐそばで祈りを聞かれ、恵みの支配により肉の誘惑、悪の支配を断ち切る！

❷御名をあがめる心こそ…「あがめる(ハギアゾー)」の原意は「聖める」…「神が神として尊ばれ、第一とされるように」の意。この祈りが勧められた背景は…悲惨な現実への不満！人は、神を崇めるところか恨んでいる…その悲しみの中で『御名があがめられますように』と祈る意味はある？それは、社会が、この私の現実が今どう見えようと、神よ、あなたの最善が、あなたの正しさが、何にも邪魔されず貫かれますように。私は、あなたを100%信頼します！との希望の告白！この祈りを最悪の状況でも信仰をもって捧げる時、その人の生き方は正される！これを立派に祈ったのがマリヤ！『わがたましいは主をあがめ、わが霊は、わが救い主なる神を喜びたえます(ルカ 1:46～47)』。「あがめる(メガルノ)」は『大きくする』の意。自分は小さく、神を大きく、権威あり、尊ぶべき方とした！

★私たちが、この神の全能、救い、慰めを知って大いに崇めるとき、日々の歩みの中で御心の実現される！

❸御心を表す最高の資質…それは「謙遜(砕かれた心)」！安芸津教会の向井師(1/3 召天)を信仰に導いたのは、「無に等しい者を選ばれた(Ⅰコリント 1:28)」という御言葉だった。向井師に不遇の人生に対する恨み事などなく、ただ感謝のみ！

★創り主が私たちの名を呼ばれ、私たちが『私たちの天の父』と呼ぶ！そして御名を崇め(その父の御心の最善を信じ)、『どうぞ、あなたのおことば通りに、この身(教会、家族、職場、隣人…)になるように』と謙虚に期待して祈りたい！